

平成23年4月30日

第 9 号

洞上墨蹟

禪文化

一義中



達磨図特集



目次

会のさらなる発展を願って……………会長 清水 琢道 1

目次……………2

第13回結集報告・新潟県 林泉庵……………石野 宏和 4

参加者名簿……………11

拝登寺院案内・所蔵文化財紹介……………12

林泉庵・雲洞庵・西福寺・種月寺・良寛堂・徳昌寺

第14回結集報告・青森県 大慈寺……………尾山 晋祐 68

参加者名簿……………77

拝登寺院案内・所蔵文化財紹介……………78

大慈寺・光龍寺・八戸市美術館・対泉院・西有公園・法光寺

講演 西有穆山禪師——ユーモアと剛胆さ(瓶茶談義)……………吉田 隆法 112

西有穆山禪師の著書並びに関係資料年表

西有穆山禪師顕彰会副会長 伊藤 勝司 118

第15回結集報告・京都府 源光庵……………堀口 慶哉 134

参加者名簿……………149

拝登寺院案内・所蔵文化財紹介……………150

源光庵・永興寺・栄春寺・禅定寺・興聖寺・天寧寺

〈特集〉

達磨図……………203

達磨図について……………鈴木潔州 204

特集索引……………212

達磨像の虚実……………西村 恵信 318

尊い姿——禪の美術……………関 美香 324

大愚良寛と祥水海雲……………清水 琢道 334

春の義士祭に寺宝拝観……………340

——東京都品川区 泉 岳 寺——

松尾芭蕉句碑『蛙塚』除幕式挙行

「古池や蛙とびこむ水の音」柴口 成浩 350

第一回宗龍禪師シンポジウム開催報告

——大和宗龍伝(故大島晃氏著)二版刊行記念——

小林 將 362

寺院仏具「蒔絵法具」……………大竹 喜信 372

貝葉書院のこれまで……………河村 昭三 380

鉄文道樹和尚から瑞岡珍牛和尚に送られた立職の賀偈

山口 正章 384

現代宗門人の書③……………鈴木 包一 390

珍しい涅槃図の話……………竹林 史博 396

古玩・書斎観歩⑧……………熊野 山人 404

秘蔵の一品⑪——仏像——

大通寺不空絹索観音菩薩坐像……………柴口 成浩 412

秘蔵の一品⑫——墨蹟——

孤峰智璨禅師書……………坂西 啓悟 420

「東雲文庫雨宝室より」⑤……………坪内 秀元 426

書画屋探訪⑨ 静岡県焼津市「天宝堂」……………柴田 芳憲 428

禅僧筆痕物語⑨ 金石文編……………小林 將 432

駒澤大学禅文化歴史博物館企画展

「良寛没後百八十年記念 良寛とその周辺

〜江戸後期の禅僧たち〜」を開催して

塚田 博 436

修行の土墓……………山岸 弘文 442

玉 走 盤…………… 444

会員著書紹介…………… 446

本会推薦書籍…………… 449

会員名簿…………… 454

賛助者ご芳名…………… 464

第17回結集のご案内…………… 465

活 波 瀾…………… 466

〈禅文化情報〉

大本山永平寺…………… 202

大本山總持寺名宝一〇〇選…………… 328

石川県大乘寺御開山ご尊像の大修理…………… 452

江戸東京博物館 増上寺五百羅漢図百幅公開…………… 339

愛知学院大学「文学部博物館」オープン…………… 453

良寛修行の地に「印可の偈」石碑…………… 338

『總持寺の歴史と文化』探る

鶴見大仏教文化公開シンポ…………… 370

『吾妻鏡』記述裏付け

横須賀大善寺に金色堂様式立像…………… 424

九州国博で黄檗展…………… 402

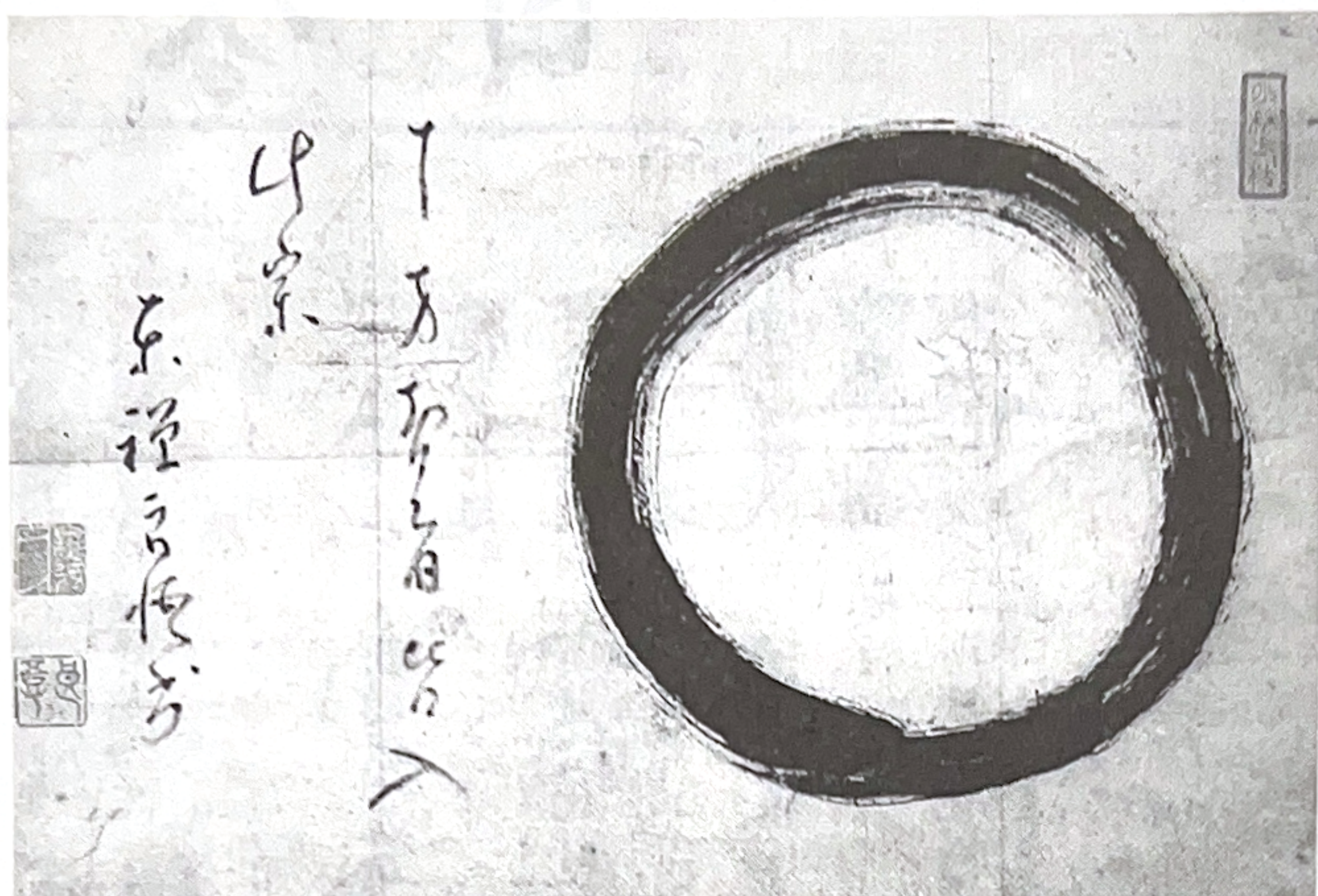
中国寧波 天一閣美術館にて

「玲瓏山房法音書画展」開催…………… 382

会報紹介記事…………… 463

会のさらなる 発展を願って

会長 清水 琢 道



無得良悟 円相

当会の発足は平成十五年四月で、会員は二十六名、会誌創刊十五年九月総頁数五十三頁、第八号廿一年十一月刊総頁四九三頁、会員約三百名隔世の観があります。結集も昨秋の茨城会場は第十六回を数え毎回充実したものとなり、参加者各位は眼福をえて充実感を土産に帰山したはずです。



この会の誇るべき事は、ちよつと伽藍を覗くことしか出来ない観光と異なり、その堂奥まで入る事が出来、秘宝の墨蹟、仏像、庭園、伽藍の細部等いわば禅文化の精粹を心ゆくまで説明付きで鑑賞出来る事です。会を重ねるごとに内面の充実と相互の親睦を深め、まさに法悦にひたる事が出来ます。

揭示の無得良悟禅師の円相の賛語「十方智者皆入此宗」のように本会に入会され楽しみながら内面の充実に努め、一緒に歩みを進めて欲しいと思います。

不肖はからずも本会会長に推挙されましたが、老齡、病弱で時々病院に穩坐する身ですから活動も十分出来兼ねますので、会員諸彦のご支援を切に願う次第です。



禪文化洞上墨蹟研究会